

NO.164

「応募した企業がすべて不採用で…」の場合は

「応募した企業がすべて不採用。自信が無くなり悩んでいます」と相談に来る人がいます。

すべて不採用といっても、エントリーした企業の件数は人により差があります。20社エントリーしてすべてESの段階で、または面接で不採用ならESの内容や面接の受け答えをチェックする必要があります。

しかしエントリーした企業が2～3社であるなら、早く気持ちを切り替えてもっと多くの企業の説明会に参加し、気になった企業には積極的にエントリーしてみてもとアドバイスしています。

その理由は好景気・不景気によってバラツキはありますが、ここ数年の就活生の平均エントリー数は20～30社というところで、多い人では50～60社以上もエントリーしているようです。

私が支援した人でインターンを100社行った人もいました。もちろん多い場合と少ない場合でメリット・デメリット両方あります。また「何社以上エントリーしなければ内定が出ない」というような法則もありません。

もちろん単純に応募件数が多ければよいということではないですが、2～3社では不採用の理由を検討するにも、材料として少ないのではないかと思います。

また、エージェント経由で提案された求人を一度に20社程度エントリーした場合も同様です。

20社と件数は多いのですが、1社ごとに内容を検討していなければ複数応募したとは言えません。

最初から3年で転職しますと、転職することを前提にしている人は別として、一度就職すると長い期間働くことになると思います。

何十年も働く会社や職種を2～3社の中で決めるのは、リスクが伴うのではないのでしょうか。

応募まで至らなくてもインターンや説明会だけでも多く参加し、**自分の中での情報量と検討材料を増やしましょう。**

**埼玉新卒応援ハローワーク
就職支援ナビゲーターからの一言**

